

# いちかわ 生物多様性モニタリング調査 指標種ハンドブック



ツバメ

(投稿者：17C00005 様)



キンラン

(投稿者：16C00005 様)

自然環境課 自然共生グループ

2023年3月

## 1. はじめに

市川市では市内の自然環境を保全し、生物多様性を未来の世代に伝えるために、平成 26 年 3 月に生物多様性いちかわ戦略を策定しました。生物多様性いちかわ戦略の目標年次は 2050 年です。

2050 年の市川市の自然はどうなっているでしょう。そして、将来の世代に市川の素晴らしい自然を伝えるためには、私たちは何ができるでしょうか。

身近な自然について記録することはとても大切なことです。継続して観察した記録は、自然を保全するためのとても重要な資料になります。市では平成 27 年度から生物多様性モニタリング調査を開始しました。環境のキーワードとなる生きもの（指標種）を皆さんと一緒に調査して、市内における生息状況などを継続的に調べます。

このハンドブックは指標種の見分け方などを記載してあります。調査の際の参考にしてください。



柏井青少年の森

## 2. 調査方法

### 【何を調べるか】

調査対象の指標種は鳥類8種、植物6種、爬虫類3種、両生類2種、哺乳類1種、昆虫8種、クモ1種の全部で29種類です。それぞれの種によって、観察される時期は異なりますが、見つけた時に報告をしてください。

指標種以外にも、珍しいいきものに出会うかもしれません。市内の生きもの分布の貴重な資料になりますので、「その他」として報告してください。



サワガニ



オオタカ(幼鳥)



ハグロトンボ

上

は「その他」の一例です。どないいきものに出会えるでしょうか。

※調査員の皆さんからの情報は、原則として「生きものマップ」に掲載しますが、種の保護上、支障があると判断される場合は掲載せず、生活環境整備課内部の貴重な資料として活用させていただきます。

### 【調査場所】

市川市内全域が対象です。いつも自分で自然観察をしている場所や通勤・通学や買い物途中の道ばた、散歩コースなど日常生活の中での発見を報告してください。生物多様性モニタリング調査は、指標種等について、市内の広い地域から数多くのデータを集めようとするものです。

## 鳥類



### ツバメ (ツバメ科) 営巣

- 体の大きさ 17 cm
- 民家の軒先等に、泥等を使ってお碗型の巣を作ります。
- 空中を飛んでいる虫を餌にしています。
- 鳴き声：「チチュロリ、チュリチュリ、ジュリリ・・・」と複雑



### ウグイス (ウグイス科)

- 体の大きさ 14~16 cm
- 秋から冬は「チャッチャツ」と鳴く
- 市川市民の鳥



### ヒバリ (ヒバリ科)

- 体の大きさ：17 cm
- 低い草原の地上に巣をつくります。
- 鳴き声：ピーチュルピーチュルと飛びながら鳴く



- カワセミ** (カワセミ科)
- ・スズメより少し大きい
  - ・川や池で見られます。
  - ・腹はレンガ色
  - ・雄のくちばしは黒い (写真は雄)
  - ・雌は下嘴が赤い



- メジロ** (メジロ科)
- ・体の大きさ 12 cm
  - ・目の周りの白い輪
  - ・花の蜜や果実を好む
  - ・群れで行動することが多い



- コゲラ** (キツツキ科)
- ・体の大きさ 15 cm
  - ・ギーと鳴く
  - ・木の幹を垂直に移動できる



- モズ** (モズ科)
- ・体の大きさ 20 cm
  - ・昆虫やトカゲなどを食べる
  - ・他の鳥の声をまねる
  - ・雌のおなかには横縞が入る (写真は雄)



**シラサギ類** (サギ科)

サギ科のうち、白いサギを総称してシラサギと呼びます。市内で見られるのはダイサギとコサギが主です。  
※種名がわかる場合は種名も報告してください。

ポイント	ダイサギ	チュウサギ	コサギ
大きさ (全長)	88~98cm	68cm	61cm
見られる時期	一年中	主に夏	一年中
くちばしの色	夏：黒 冬：黄色	夏：黒 冬：黄色	一年中：黒
あしの色	黒	黒	黒
指の色	黒	黒	黄色
頭の飾り羽	無	無	繁殖期：有



**植物**

**ソメイヨシノの開花日**  
 (バラ科)

エドヒガン系の桜とオシマザクラの交配で生まれたと考えられる園芸品種です。  
 ソメイヨシノは1本の木から増やした、クローンです。

調査木で5~6輪の花が咲いた日を開花日とします。自分の標準木を決め、毎年、開花日を調査してください。



### キンラン (ラン科)

- 里山では普通のランの一種でしたが、近年、減っています。



### ヤマユリ (ユリ科)

- 里山で普通に見られたユリですが、最近、少なくなりました。
- 花には強い香りがあります。



### セイタカアワダチソウ

(キク科)

- 花は小さい黄色の花の集まり
- 重点対策外来種
- 近年は減っている傾向



### ヒガンバナ開花日

(ヒガンバナ科)

- 多年生の球根性植物
- 6枚の花弁が放射状につく
- 葉は開花後に生える



### カラスウリ (ウリ科)

- つる性の多年草
- 花は夕暮れから開く
- 雌雄異株
- 実は雌株になります。



### 爬虫類

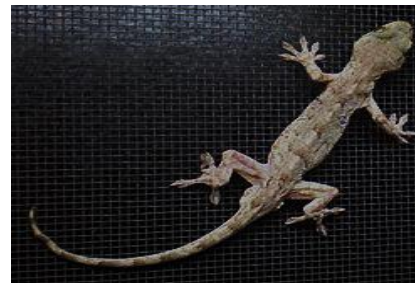
### ニホンカナヘビ (カナヘビ科)

- 体につやがありません。
- 尾が長く体の3分の2を占めます。
- 体の大きさ：16~25 cm
- 昼間活動し昆虫等を食べます。



### ヒガシニホントカゲ (トカゲ科)

- 体につやがあります。
- 黒っぽい体に5本の縦じま
- 尾は青い
- 体の大きさ：16~25 cm
- 昼間活動し昆虫等を食べます。



### ニホンヤモリ (ヤモリ科)

- 体の色は灰色~褐色
- 脚に、吸盤があります。
- 体の大きさ：10~14 cm
- 夜活動し、家の明かりに集まる昆虫等を食べます。

## 両生類



### アズマヒキガエル (ヒキガエル科)

- 体が褐色、多くのいぼがある。
- 鳴き声：グーグー。
- 大きさ：16～18 cm
- 別名：ガマガエル



### ニホンアカガエル (アカガエル科)

- 体は赤褐色
- 鳴き声：キョッ、キョッ・・・
- 大きさ：4.2-7.8 cm
- 産卵は浅くて日当たりのよい水辺で早春（1～3月）



ヒキガエル卵



アカガエル卵

## 哺乳類



### アブラコウモリ

(ヒナコウモリ科)

- 日本で唯一、家屋を住処にするコウモリ。
- 夕方に活動し、空中を飛びながら昆虫等を食べます。

## 昆虫



### オオカマキリ (カマキリ科)

- 体は緑色または淡い茶色
- カマの付け根はクリーム色（チョウセンカマキリは鮮やかなオレンジ色）



オオカマキリ卵のう



チョウセンカマキリ卵のう



### トノサマバッタ (バッタ科)

- 緑色型と褐色型の2つのタイプがあります。
- 広い草地に棲んでいます。



オオミノガ

### ミノムシ類 (ミノガ科)

- 袋の大きさ約50mmのオオミノガは激減しています。
- 小型のチャミノガ(袋の大きさ約25～40mm)がいます。



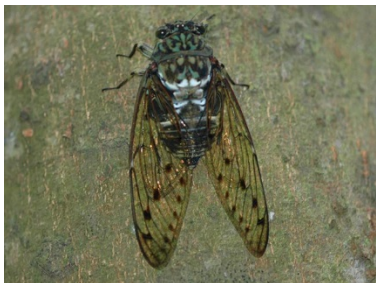
- オニヤンマ** (オニヤンマ科)
- ・黄色と黒のしま模様
  - ・日本最大のトンボ
  - ・幼虫から成虫になるのに3年ぐらいかかります。
  - ・決まったコースを巡回します。



- ナガサキアゲハ** (アゲハチョウ科)
- ・後ろ翅に突起がありません。
  - ・オスは前翅も後翅も黒い。  
(写真はメス)
  - ・幼虫の食草はミカン科



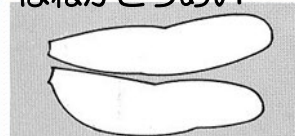





- クマゼミ** (セミ科)
- ・黒い体に透明の翅
  - ・日本最大のセミ
  - ・鳴き声は「シャシャシャ…」
  - ・最近では市川市でも確認されています。



- ミンミンゼミ** (セミ科)
- ・翅が透明で、胸に緑色の模様
  - ・鳴き声は「ミンミンミン・・・」
  - ・比較的、乾燥したところに生息しています。



- アカトンボ類** (トンボ科)
- アカトンボという和名のトンボは存在しません。日本に20種類ほどいるアカトンボ属と呼ばれるグループに含まれるトンボ達の総称です。

はねがとうめい 	はねの先が黒い 
先がとがる 	太いまま 
先がたいら 	逆U字のかたち 

アカトンボ類は、ハネの紋とムネの黒い斑紋とで見分けることができます。

市内で見かけることの多い種について、見分け方を掲載しました。

※種名がわかる場合は種名も報告してください。



- クモ**
- ジョロウグモ** (ジョロウグモ科)
- ・卵を控えたジョロウグモの雌は、腹部の模様や色合いが鮮やかになる
  - (左写真はメスがアキアカネを捕食中。小さいのはオス)